

平成21年度事業報告書

I 法人名称 学校法人弘前厚生学院

II 法人事業目的 すべての国民の健康と社会福祉のために貢献し得る人材を養成する。

III-1 事業 弘前厚生学院の設置運営（保育士・介護福祉士養成専修学校）

1. 事業方針

学生募集を推進し、社会福祉の現場に適応できる専門的知識・技能及び豊かな人間性を兼ね備えた人材を育成するため、教育環境を整備し、教育内容の充実を図る。

2. 入学生、在学生の状況

【単位：人】

保育科（定員各学年50）	備 考	
入 学 生	39（うち男子15）	前年度41（うち男子10）
退 学	1（うち男子0）	前年度7（うち男子0）
第 1 学 年	38（うち男子15）	前年度34（うち男子10）
第 2 学 年	34（うち男子10）	前年度34（うち男子4）
計	72（うち男子25）	前年度68（うち男子14）
介護福祉科（定員25）		
本学から進学	17（うち男子4）	前年度17（うち男子0）
他校から進学	2（うち男子1）	前年度1（うち男子0）
退 学	0（うち男子0）	前年度1（うち男子0）
計	19（うち男子 5）	前年度19（うち男子0）
合 計		
	91（うち男子30）	前年度87（うち男子14）

3. 卒業生進路の状況

【単位：人】

就 職 先	保 育 科	介護福祉科	備 考
保 育 園	11	5	うち女子1 秋田県
児童養護施設	0	0	
社会福祉協議会	0	2	
知的障害者施設	2	0	うち男子1 秋田県
特別養護老人ホーム	1	2	
病 院	0	1	うち女子1 茨城県
介護老人保健施設		2	
身障者療護施設		5	
軽費老人ホーム		1	
ショートステイ		1	
在宅介護支援事業		0	
一般企業	1	0	
計	15	19	うち県外就職3人
就 職 率	100%	100%	全国大学生平均就職率約80%
結婚・家事従事等	2	0	
介護福祉科進学	17		
就職活動中	0	0	
合 計	34	19	

4. 環境整備等

- ①校舎玄関全面改装工事（オートロック式）
- ②機械警備監視（校舎・記念館）
- ③AED1台設置
- ④地デジ対応液晶TV2台

5. 教育活動等

- ①入学生ピアノ特別レッスン実施
- ②「よさこい津軽」参加
- ③オープンキャンパス実施
7月4日第1回開催 参加高校生等39人 保護者3人
11月7日第2回開催 参加高校生等5人 保護者2人
- ④高校生1日保育体験 ※みどり保育園で実施
8月6日第1回開催 参加高校生等26人
8月7日第2回開催 参加高校生等15人
- ⑤実習施設連絡懇談会（保育科） 10月31日実施
- ⑥特別講義
保育科 6月8日「目指すもののために」講師 齋藤千恵子先生
保育科 6月10日「アジアの世界に窓を開こう」講師 木村直美先生
- ⑦卒業記念発表会 2月26日弘前文化センターにて開催
※公演模様を撮影しDVDを編集製作（卒業記念品及び広報活動に利用）

7. 保育科研修等

- ①1学年施設見学 (10月 弘前市内各施設 引率教員3名)
- ②2学年研修旅行 (10月 函館市 引率教員3名)
- ③全保養協教員研修会 (9月 仙台市 教員1名)
- ④リトミック初級研修会 (通年 青森市 教員1名)
- ⑤食育研究大会 (11月 十和田市 教員1名)

8. 介護福祉科研修会等
- | | | |
|------------|----------|---------|
| ①学生研修旅行 | (11月 宮城県 | 引率教員3名) |
| ②日介養協教員研修会 | (8月 福島県 | 教員1名) |
| ③国際福祉機器展 | (8月 東京都 | 教員1名) |

9. 広報活動
- ①新聞広告 (陸奥新報2回)
 - ②弘南鉄道車内 (26車両1ヶ月)
 - ③奥羽線車内 (100車両1ヶ月間)
 - ④高校訪問及び進路ガイダンス
 - ⑤バス停広告 (1箇所)
 - ⑥電柱広告 (5箇所)
 - ⑦タウン雑誌掲載「TEKUTEKU」

11. 日本学生支援機構奨学金利用者の状況 (学生合計39人)

- ①保育科1学年 第一種 = 3人 きぼう21 = 13人
- ②保育科2学年 第一種 = 1人 きぼう21 = 14人
- ③介護福祉科 第一種 = 2人 きぼう21 = 6人

(参考 過去5年の実績)

- 平成16年度計33人
- 平成17年度計46人
- 平成18年度計51人
- 平成19年度計51人
- 平成20年度計41人

12. ニッセイ聖隷健康福祉財団奨学金 介護福祉科学生1人
 ※奨学金月額2万円 (社会福祉施設に従事した場合は返還不要)

13. 介護福祉士等修学資金貸付制度 介護福祉科学生6人
 ※奨学金月額5万円 (青森県内の社会福祉施設に通算5年間従事した場合は返還不要)

Ⅲ－２事業 国重要文化財建造物「旧弘前偕行社」の保存活用及び維持管理

1. 事業内容

- ①旧弘前偕行社の建物を、弘前厚生学院の講堂として利活用する。
- ②各団体等の催しに開放する。
 - 5月17日 小川家結婚披露宴
 - 5月24日 プロレト・イグラの集い
 - 8月30日 小沢小学校合唱部練習会
 - 9月27日 プロレト・イグラの集い
 - 12月13日 弘前市母子寡婦福祉会クリスマスの集い
- ③一般見学者に開放する。

来館者	県内	県外	計
本年度（A）	380	254	634
前年度（B）	441	211	652
増減（A）－（B）	△61	43	△18

- ④早期の復元及び改修事業の実現に向けた協議を行う。
 - 3月3日 第1回改修事業検討会議
 - 参加者 弘前市教育委員会・文化建造物財保存技術協会・弘前文化財建築研究所
 - 平成22年12月末までに、改修事業申請のための保存活用計画を明確に作成する。
- ⑤維持管理に必要な小規模な修繕を行う。
 - 8月 玄関アーチ内部腐食保護工事
 - 工事費220,500円

2. 国指定文化財管理事業

（事業趣旨）

貴重な財産である国指定文化財の維持管理の促進を図るため、維持管理を行う所有者に対し補助金を交付する。

（事業費内訳）

県・市補助金	241千円
所有者負担	81千円
計	322千円

（事業内容）

防災設備保守点検	113千円
除排雪等工事	209千円
計	322千円

III-3 事業 その他目的達成に必要な事業

1. 事業目的

公益的事業を永続的に運営するために、本来の事業に支障のない範囲で法人で所有する 財産（土地、建物）を有効に活用し収益事業を行い、公益的事業実施に寄与する。

2. 収益事業の内容（特別会計）

- ①みどり保育園舎賃料相当損害金
(詳細) 月額440,000円×10ヶ月 = 4,400,000円
- ②学院敷地内に学生駐車場を設け（有料）学生に利用させる。
(詳細) 年額30,000円×28.5台 = 855,000円
- ③旧弘前偕行社内の3室をみどり保育園保育室（有料）で利用させる。
(詳細) 月額100,000円×12ヶ月 = 1,200,000円
- ④自動販売機設置マージン
(詳細) 年間収益12,986円

3. 介護福祉士養成施設動向調査事業（特別会計 事業費1,146,571円）

(事業目的)

本学介護福祉科の卒業生の実態を把握し、青森県における福祉・介護人材の現状や人材確保のための課題を考察する。

(事業内容)

- ①卒業生動向調査
本学介護福祉科卒業生（過去5年）105人に対し、動向についてアンケート調査を実施した。
- ②介護福祉科の学生に対して、介護現場で就労している卒業生によって支援懇談会を実施した。
- ③来校する卒業生からの聞き取り調査及び就労相談を実施した。

4. 潜在的有資格者等養成支援事業（特別会計 事業費302,251円）

(事業目的)

本学介護福祉科の資源を活用して、潜在的介護福祉士の再就職を支援するための研修等を通じて、福祉・介護分野への新たな人材の参入・参画を促進するとともに現に 従事する者の定着を図る。

(事業内容)

- ①卒業生懇談会を開催し、就労定着及び再就職支援に関する啓発活動を実施した。
- ②保育科卒業生に対して介護福祉科の募集広報活動を実施した。